

# 常新新聞

二十二年十二月廿九日

定額 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元  
 零售 每份五分

發行所 東京市本町一丁目 常新新聞社  
 電話 六三〇番

### 景氣の根柢 (36)

經濟學博士太田正孝氏述  
 良い材料はないが悪くなつて行くと思はれます。銀の値打にしても去年以下に下るとは私は思ひませぬ。斯様に考へて見ますと、他力關係に於て亞米利加の景氣は昨年より稍良くなるが、支那の景氣が去年より悪くなる材料はないが、良くなる材料も別がない。併し一面に自力關係を見ると、それは唯單純なる形であるけれども、私共から申しましたならば、今の不景氣はまだ根柢として底をへられざるで、又頭を上げて行くやうに不景氣が景氣に向ふべき形にはまだなつて居らぬと思ひます。今の場合に於て若し之を無闇に景氣にしようとして、其の根柢を誤解して無闇な遣方をやつて行つたならば、飛んでもない事が起るだらうと思ひます。國の財政にしても、之から更に專業を殖やして行つて積極的な考を以て行つたならば景氣が来るかと申しますとお叱りを受けるかも知れませぬが學者と云ふ立場から見ましたならば、景氣は何時まで経つても來ないと思ひます。何故か

ならば、お互に寄つて守りたて、居る國の經濟と云ふことをお考へ願ひたいのであります。國の經濟財政の遣方は入るを計つて出づるを制するのであります。それが一通のメドであります。國民の懷を對手にせずして其處に一つ仕事を起せば世の中は飛んでもない事になります。奈翁は國民にお前達金を用せ、それは何に使ふのかも知れないと言つたさうであるが、入るを計つて出づるを制する、此の考の下に專業を考へて行かなければならぬ。それが一應のメドであつて最後に考へるのは國民の懷勘定であります

## 大和屋

平町南町 電話一四番

日本料理 五品

忘年会 新年會 同窓會  
 清酒一本附 何卒御用仰付の程願上候

貸家 新川町郵便局トナリ 商店向 月拾九圓  
 中野勇吉

### 眞理の賣出し

(2×9) (3×2×3)  
 肉は三二三三  
 眞理で御座る

其肉はよく 其値は安く 此上なしとは 是れ又眞理 夫れに尙しかけて 割引賣出し

肉は三二三三 電話三二三三

### 年末聯合福引大賣出し

十二月廿一日より 全月廿七日まで 七日間  
 お買上金高壹圓毎に 福引券壹枚進呈

特等 桐箆筒貳重 一等 白米貳俵  
 二等 キツコーマン ヒゲタ醬油六樽  
 三等以下七等まで 山なす景品でございます

脚氣、淋病、梅毒、神經痛の (德島縣、當金屋の家傳の大妙藥)

### 退痛散

特約店 大平屋藥店 電話六四二番  
 平町一丁目

總て藥劑は服用せずして其効を論ずるを得ず敢て壹週間の服用を奨め以て其實驗的證明を俟つのみ。

### 理化学研究所製 吸入用酸素

優良なる理研の酸素の御用意を 福島縣中町

特約店 三關内藥舖 藥劑師 關内榮助 (電話四〇番)

### 住友生命の五大特長

- △經營者ノ確實ナル事
- △責任準備金ノ多キ事
- △住友生命ノ積立金ハ我國テハ第一位ヲ占メテ居リマス
- △保費料金ノ低廉ナル事
- △親切ニシテ寛大ナル事
- △配當金ノ多キ事
- △住友生命ハ資本金ニ對スル配當率頂キマセン
- △カラ利金ハ全部契約者ノモノニナリマス

絶大ナル信用——確固タル經營——全クノ契約者本位

平代理店 金成泉一郎 平町材木町 (電話七〇四番)

### 痔の大妙藥

最近發見劑 外用「リット」金三十錢以上 百日せき、其他せき一切に特效藥 (柱屋せき一切)

特約店 平町田町 藥劑士 早稲美藥局 電話五五一番

### 大衆向のお茶菓子として 「福袋」

一袋 特價 三十錢  
 ◇毎日五十錢限り提供  
 ◇賣切れない内お早く

ヤトモツマ 番四一二話電 目丁四

### 御贈答用として御便利な商品券 最も御重寶是非御利用を

十二月廿日ヨリ 三十日マデ 年末大奉仕

大好評 最新柄シヨール大廉賣 足袋大安賣 一萬足限り

一圓五十錢均一 二圓均一 二圓五十錢均一 三圓均一

數に限りありますお早く

黒朱子三十錢 白キヤラコ二十錢 絹天女物廿五錢 鬼コール天廿八錢 平町三丁目 電話三八番 七五一番

三井吳服店

### 經濟界から見た平町

#### 同じ調子で暮れやう

總へてがやり繰算段で 辛じて越す年の關

經濟的國難時代といふべき昭和二年も恢復の曙光も見えずに旬日ならずして暮れて行く。師走の平町の各方面の景況を窺ひ見ると何處も同じである、平町經濟界のキャスティングボートを握る郡内

#### 炭礦會社 は持久的

不況に災され今年になつてからは昨年以上の需要減を來し幾分炭價の高騰を見たといふものの全くのやり繰算段で僅かに經營を持続してゐる有様であり、九月以降石炭の需要期に入つてからの今年は鐵道納炭の減少

#### 糸價暴落 による信

州製糸家の操短休業等第一向に捌けず口幣城九萬噸入山一萬、古河三千、三井三千その他群小炭礦の貯炭を合すれば優に三十五萬噸あり、近年にない貯炭激増を見てゐる、従つて各炭礦とも可成り經營に苦心してゐるらしい平町の

#### 各銀行は 財界パニ

ック以來全國共通的な打撃を受け資金偏在し短期の資金需要の喚起を見ずそれに回収は不良、徒らに長期資金のみの貸付けを餘儀なくされてゐる一方預金の如きも減少し今期は必然的に利益率の低下を見るものと豫想されてゐる、上述の如き

海岸地先にある種の施設を行ふ事によつて當面の救済策を講ずべく關係筋への陳情其他夫々實現促進の運動に着手するものと觀られて

### 刑務所から出て

#### 廣告詐欺を働く

各商店主から金を捲き上ぐ 本日平署に檢舉

### 小學校増築

本日も協議 平町々是調査會にては本日午後一時より町長室に開會小學校増築問題に關し協議を遂げた

### 小名濱産の 鯉の大和煮

神戸市で入賞 小名濱水産工業株式會社製造の鯉大和煮罐詰は發賣以來各方面に非常なる好評を博します、その需要を増

### 副業の養兔

平町現在敷 平町に於ける家庭副業としての養兔は逐年盛んになつて來たが去る廿日現在数は二百六十五頭價格二百四十二圓である



### 暖まる變つた汁

酒粕汁 材料—酒粕(五十匁) 鹽鮭(百匁)大根(百匁)味の素(少々)

準備—鮭は小さく切り、大根は堅四ツ割とし、小口より薄く切つて置く

準備—鮭は小さく切り、大根は堅四ツ割とし、小口より薄く切つて置く

### 平町區長會議

#### 夜警の件で

平町では二十日午前十時から區長會議(鐵道以北を除く)を開き二十五日から開始する夜警の件に就き協議を遂げる筈である

### 松本君の訃

平町四丁目マツモト菓子店若主人松本貞雄君は病氣中の所十七日午後五時十五分死去

### 平町人事

出生 △北目町六七 當時茨城縣多賀郡松岡村大谷良一氏長女房子

### 婚姻

△南町六六 齊藤金次郎氏(三九)宮城縣伊具郡丸森町佐藤たれ(三六)

### 死亡

△赤宜町七三 上吉種氏(二七) △四軒町一九 猪狩清太郎(七六)

### 小名濱港修築案

#### 縣會で可決確定

希望と絶対條件を附して 明年度より施工

縣會に最も重大案として論議された第二種重要港案としての小名濱商港問題は慎重審議の結果原案通り總工費三百八十八萬圓内國庫補助はその半額の百九十四萬圓、淺野翁寄附百萬圓、縣起債百〇五萬圓として明年

一、淺野總一郎との契約中無料使用期限三十年とあるを二十年と短縮すること

二、工事費増額の場合においてはその割合に應じ寄附金を増額すること

絶対條件 一、契約文中に權利讓渡又は轉貸の禁止條項を加ふること

二、小名濱町よりの寄附金五萬圓を増額せしむること

三井の格安品 平町

### 平町の 米實收高

#### 價格や其他

平町に於ける本年度の米實收高は粳米二千三百卅石(價格六萬四千七十五圓)糯米百一石(價格三千二百卅二圓)であつて一反歩當りの收穫高は粳米二石一斗五升糯米も同様、又一石に付いての價格は粳米二十七圓

### 奇特の行爲

#### 査閱官の褒詞

師團長へ上申 石城郡勿來町源助町左官職川井淺之助氏はその徒弟三名をして何れも訓練所へ入所せしめ教練日には業を休

### 耳の鬼

#### 全國師團只一人

松勝美(三)は入營以來學科の成績拔群であつたのみならず入營當時から兵營生活の目的を貫徹するといふ堅い決心を抱き二ヶ年の永い間日曜祭日は勿論慰勞休暇さへ一日も外出せず熱心に軍隊支給品の整理や同僚の慰勞等に務めるなど奇特の行爲多く聯隊では全國の師團を調査したところ未だ曾つて一日も外出しなかつたのは此上等兵のみであると